(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県多古町

本事業の担当部局名 企画政策課地方創生推進係

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業										
区分			重点メニュー									
関連事業メニュー			1_2_2 若い世代の描くライフデザイン支援									
個別事業名										継続		
実施期間			令和7年4月1日			~ 令和8年3月31日		事業開始年度	令和1年度			
総事業費(A)(円)			478,640			寄付金その他の収入予定額(B)(円)		差引額(A-B)(P	478,640			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額			478,640									
	区分		諸謝	金	賃金	報償費		旅費	需用費	役務費		
#	 総事業費			0	0	478, 64	0	0	0	0		
	対象経費支出予定額			0	0	478, 64	0	0	0	0		
費 用	対象外経費支出予定額			0	0		0	0	0	0		
内訳(区分		委託	料	使用料及び賃借料	備品購入費		負担金	補助金	計		
	 総事業費			0	0		0	0	0			
円	対象経済	費支出予定額		0	0		0	0	0	478, 640		
	対象外経費支出予定額			0	0		0	0	0	0		
	\cap		※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。									
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け			過年度に引き続き、婚姻件数や婚姻率の低下に歯止めをかけるべく、、若い世代に対してライフプランセミナーを重点的に行う。その際、EBPMを意識した事業を推進するため、実施後に事業対象者に丁寧にアンケート調査等を行い、次年度以降により効果的な取組を行えるように留意する。 <本個別事業の位置付け> 本事業は、若年層からのライフデザイン形成を促すため、結婚・出産などを考えるセミナーとともに性感染症等に罹患すると男女ともに妊娠率が下がる可能性があることなど性について学べるセミナーを実施する。									
	番号	項	目	内容								
個別事業の内容	2	ライフデザイン・ ナー②の開催		ライフプランニングに対するヒントとなる講義とともに自分の未来を高校生のうちから自ら考える時間を設け将来のライフデザインを高校生のうちから具体的に意識させるようにする。 ※対象:多古高校80名、わせがく高校35名を予定 ※回数:1校につき1回を想定 ・セミ 町内の高校、2校と連携し、ライフデザインセミナーを行う。セミナーでは、正しい性知識や性感染症などが将来 どのような影響を及ぼす可能性があるのかを高校生のうちから学び、自己の力で自分を守るライフプランニングを考えるきっかけ促進する。 ※対象:多古高校80名、わせがく高校35名を予定								
				び上がっ	数:1校につき1回を想った課題の分析及び	それに対する取組						
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											

・高校生が抱えているライフプランへの夢や疑問を聞き取り、自分自身の未来を考える時間を設ける。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	婚姻率		%	2.4 (令和7年)	2.2(R5年)
業績評価指標(KPI)及び				-	
定量的成果目標					
※全事業共通					
		項目	単位	直近の実績値(時点)	
参考指標	合計特殊	出生率		1. 23(R5年)	
※全事業共通	婚姻件数		件	25 (R5年)	
	婚姻率			2.2 (R5年)	
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	参加目標人数	人	230 (R7年度)	78(R5年度)
	2	参加目標達成率	%	100	52 (R5年度)
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	-
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	90	92
	4	セミナー参加者が、ライフプランセミナーの体制差を考えさせられた割合	%	90	95
	(5)	セミナー参加者が友人等にセミナーを進めたいと思った割合	%	70	58
	6	セミナー参加者が性に対する理解を深め、将来様々なライフイベントに向けて考えさせられたと感じた人の割合	%	90	-
	7				
	8				